

平成28年度 低山①(雨巻山)



初笑い！ 雨巻山山頂にて

平成29年の山始めは、益子町の最高峰雨巻山(あままささん)である。標高は533.3m。一説に寄れば、名前の由来は、「この山に雲がかかると雨が降る」という観天望気からとのこと。また、この地は、江戸時代には、我が黒羽・大関藩の飛び地であったようで、黒羽とは少なからず縁はあるようだ。

平成29年1月15日(日)、朝目を覚ますと一面銀世界である。この冬の一番の寒気が入り込み西日本や裏日本の各地に雪を降らせているらしい。「まさか中止ではないかとまず浮かんだ。今年のスタートに暗雲が・・・。準備をしながら連絡を待つが、特にないので決行と考え集合場



野崎はこのとおり雪で真っ白

所(野崎)に向かった。参加者9名、気合充分で集まった。「中止」などという言葉は、全員おくびにも出さず2台の車に分乗し定刻7時に出発。一路益子町に向け、国道4号線を南下。良く言ったもので、「一川毎に気候が変わる」と言うことを実感。箒川、荒川を越え鬼怒川沿いに至ると雪など全くなし。当然車中は登山モードに入る。



目指すはあの山並み 雪は全くなし

8時20分登山口の大川戸地区の駐車場に到着。仮設だが水洗トイレ(残念ながら凍結で水が出ず)やルートマップ等が常備され、町の本気度が感じられる。駐車場には20台ほどがあり、冬のこの時期の人気のスポットのようだ。しかし寒い。防寒対策を考えながら準備し8時30分出発。まずは足尾山(あしおさ

ん)に向かう。15分程沢沿いに登ると小峠に到着。ここは尾根コースとの分岐だがそちらには入らず沢コースを選択。この辺はアオキが茂る雑木林である。葉をよく見ると冬眠でもしているのかじっと春を待っているようだ。清滝分岐を過ぎると凍結した斜



登山口をスタート



面。ロープがあるが皆スイスイと登る。じつ
とりと汗がにじんで来た頃足尾山に到着。衣
類調整と水分補給の号令が掛かるが、とても
寒くてまた同じ
ものを着る位の
冷気です。写真
を撮り程なく出
発。一度下り御
嶽山（おんたけ
さん）への登り
にかかるとここ

はこのコースでも指折りの岩山ル
ート。鎖がかかり安全対策済みだ
が、我がメンバーは、鎖など使わず
三点確保で突破。「たまにはこうい
うのも無くちゃね。」と余裕の表
情。15分程で御嶽山到着。北側の
見晴らしが素晴らしく遠く八溝山
が見える。鉄塔がそこを指し山を
拾って伸びている。手前の形の良
い山が気になるが？・・・



鎖に頼らず登る



凍っています



八溝山と気になる山（芳賀富士）

ツリーは見えない。ここは風も当
たらず大きなテーブルがあるので
昼食となる。思い思いの弁当を
食べ、テザートには植竹会長から
キンカンを戴く。

山頂に戻ると座る隙も無いほ
どの人だらけ。「えっ！」という
感じ。順番を待って全員で記念撮
影。次の山三登谷山（みとやさん）
に向かう。多少のアップダウンは
あるが、見通しの良い稜線歩き
だ。途中数箇所展望用のベンチ等

なペースだ。東側を見ると
野火焼きでもしているのか、
煙が上がっている。

大峠を過ぎると名物の猪
転げ坂（ししころげさか）に
着く。ここも10分程で登
り切りあれよあれよという
間に雨巻山に到着。10時
50分でした。休むこと無
く南側の展望台に向かう。
ミシミシと唸る木製の展望
台に全員で登ると、目の前
に筑波山や加波山が見える。
残念ながら富士山やスカイ



皆で輪になってお食事 これもまた楽し



快適な尾根道ですがとっても寒い・・・



皆で乗るとミシミシと唸る展望台

が整備されているが、今日は寒くてとても休憩の余裕は有りません。日光の山並みは相変わらず雲の中。男体おろしはこのほか厳しくなってきた。那須山や高原山に目を向けるとそこらは回復傾向のようだ。

三登谷山を過ぎると急降下で下山する。40分程で登山口駐車場に着いた。車の数も30台は有に越えている。マイクロバスまでいる。改めて人気の高さを痛感した。

時間は13時15分である。まだ早い。ここで相談がまとまり、気になる山、栃木百名山のひとつでもある「芳賀富士」に向かう。装備はそのまま車に乗り、13時40分南側登山口に到着。熊野神社の参道の階段を登り参拝し、裏手から登ること15分で山頂。先ほど登ってきた雨巻山が手に取るように眺められる。登ってみると御嶽山から眺めたような山様は感じられないのは残念である。別名は大平山と説明書きにある。どうも



芳賀富士山頂にて

地名の大平からきているようだ。帰りは北側から杉木立の中を真っ直ぐ下り、山裾を回り込むように駐車場に戻る。

ここまで来ると、茂木経由の方が近いのでためらわず国道294で野崎に向かう。途中道の駅「もてぎ」でトイレ休憩精算。ここで本日のCL鐘ヶ江さんから、かぼちゃドーナッツを戴く。疲れた身体

には甘いものが一番。美味しかった〜！。

計画よりはちょっと遅くなったが、16時野崎に到着。すっかり雪は消えていたが、気温マイナス1度ととっても寒くなっていた。寒い中皆さんお疲れ様でした。欲張りの登山で栃木百名山2つ達成です。

(伊藤 記)



登り口の鳥居 熊野神社とある

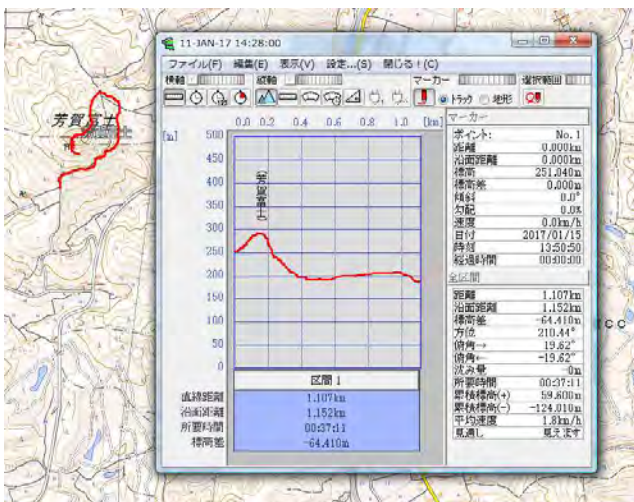
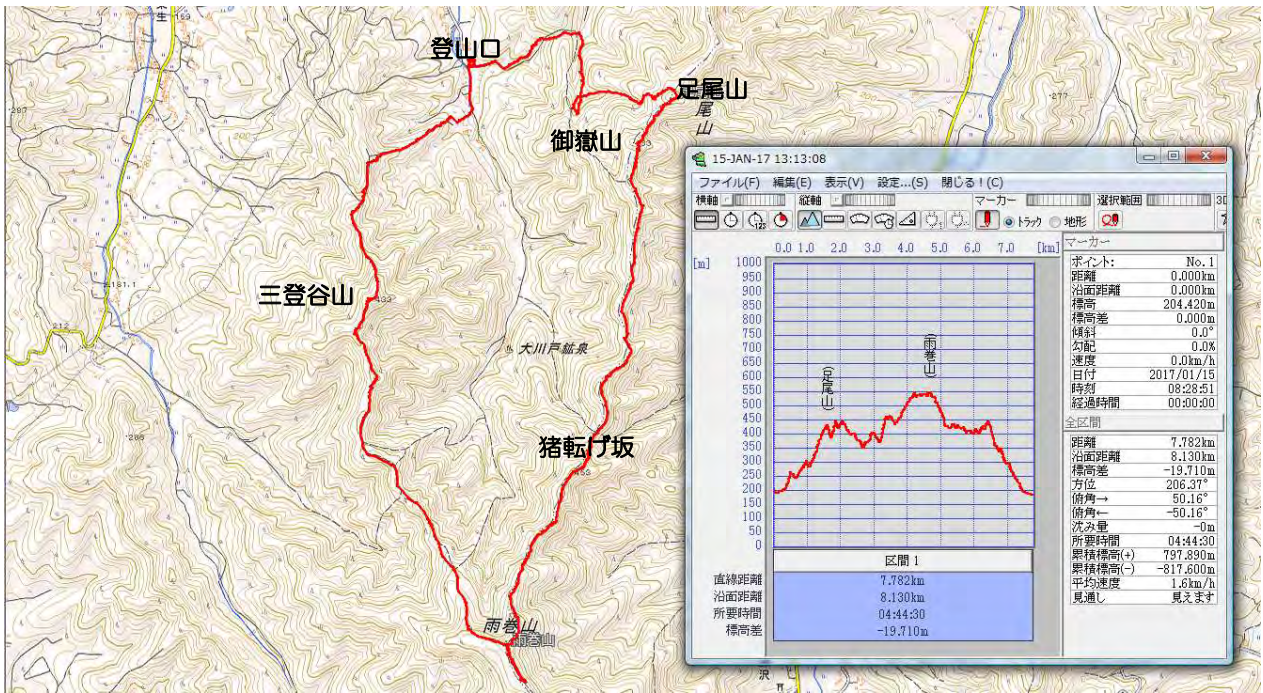
- と き 平成29年1月15日(日)
- ところ 雨巻山(△533.3m) + 芳賀富士(△271.5m)
- てんき 快晴(風非常に強し)
- あ し 荒木・植竹車
- おあし 1,000円
- 参加者 鐘ヶ江(CL)、植竹(SL)、大野(会計)、伊藤(記録)、
荒木(撮影)、伊藤(報告)、薄井、斎藤、鴛巢



氷の花

○コースタイム

野崎 = 大川戸P - 足尾山 - 御嶽山 - 猪転げ坂 - 雨巻山 - 展望台(昼食)
 07:00 08:20~30 09:15~25 09:40~45 10:15~28 10:50 10:55~11:35
 三登谷山 - 大川戸P = 芳賀富士登山口P - 芳賀富士 - 芳賀富士登山口P = 野崎
 12:25 13:15~25 13:40 13:55 14:25 16:00



樺(シキミ)の実と蕾